

## 西中学校区 小中一貫教育の取組

### 1 研究テーマ

「確かな学力と豊かな心を育てる小中一貫教育の推進」＝9年間を見通し、一貫指導を目指す＝

### 2 目指す児童生徒像

「夢を描き、仲間とともに将来を切り拓こうとする児童生徒」



児童自身が受けたい授業を選んで体験授業

(写真は英語の授業)

### 3 乗り入れ授業を行っている教科領域

- (1) 西中学校英語科教員の小学校外国語活動への支援（中学校からの学習乗り入れ）
- (2) 小学6年生の西中学校一日体験入学の実施（音楽、保健体育、美術、技術家庭、英語の授業を受ける）
- (3) 特別支援学級の合同授業（中学校が主体となる、UDの視点を取り入れた授業に小学校の特学の児童が参加）
- (4) 西中学校入学説明会において、小学6年生の「基礎学力定着調査」を行う。

### 4 カリキュラム編成に手を掛けている教科領域

- (1) 特別活動の領域で、小中学校で連携して1年間を見通した「キャリア教育年間計画」を作成してキャリア教育の推進に努めている。
- (2) 命の授業、道徳科（いじめ等）、外国語活動、総合的な学習の時間（福祉体験活動）を教育課程に位置づけ学習の系統性を図っている。

### 5 行っている交流事業

- (1) 小中連携運動会の実施（西中学校吹奏楽部が小学校に出向いて演奏）
- (2) 三校合同引き渡し訓練の実施（災害時を想定して、保護者・中学生が小学生を引き取り下校訓練）

- (3) 夏季休業中、中学生が小学生を学習指導（サマースクールの実施）
- (4) 合同職員研修の実施（キャリアパスポート、授業のUD化等）
- (5) 中学生はつらつ社会体験における、小学校との連携
- (6) 西中学校陸上部が小学校に出向き、小学校の親善陸上大会への指導
- (7) 西中学校合唱コンクール優秀クラスが、小学校の朝会で合唱を披露
- (8) あいさつ運動、無言清掃、朝読書の推進
- (9) 西中学校区青少年健全育成協議会の実施（小中学校三校の教員、地域の町会長、民生委員、PTA 役員等が参加）
- (10) 中学校英語科教員の小学校への派遣
- (11) 中学校さわやか相談員の小学校への派遣
- (12) 中学校職員の小学校授業参観
- (13) 小学6年生の基礎学力調査、西中1日体験入学、入学説明会、部活動見学の実施
- (14) 特別支援学級の交流授業の実施
- (15) 小中連絡会を各学期1回定期に開催
- (16) 小学校卒業式への中学校生徒会役員への参加

## 6 今年度の成果と課題

### 【成果】

西中学校区小中学校の教職員が互いに連携、協力して、共通指導事項、共通理解、共通行動を通して、9年間の一貫指導を貫いていくことで、大きな教育効果が上げられるという認識を共有することができた。

### 【課題】

各事業の実施にあたって、管理職、教員の綿密な打ち合わせが必要である。実施にあたって、教育効果、意義の共通理解、日程の調整が不十分であると期待した成果が得られないと肝に銘ずる必要がある。特に、中学校と小学校では時程が違うため、各校の都合ばかりを優先しようとする、小中一貫教育の推進は極めて難しくなる。